

みんなの南アルプス

発行 南アルプスを未来につなぐ会 電話 054-221-2963 (事務局)



南アルプスに広がるお花畑

第4号発行

春ですね。

静岡でもソメイヨシノの開花が宣言されました。

早起きの桜、寝坊助の桜、木々にもそれぞれに性格があることを楽しく感じます。

私たちの生活に目を移すと、春は出逢いと別れの季節などと言われますが、ふと自然の世界に目を移したとき、私たちはこの季節をなんと表現できるでしょうか。

私にとって早春とは、命の彩りが始まる。そんな季節です。

さて、会報も今回で第4号を迎えました。季節がひとめぐりしたことになります。

会報を担当し、初めて南アルプスをじっくり見る機会を得ましたが、南アルプスが、これほどまでに多くの表情を持つとは思っていませんでした。

そして、そこに在るそれぞれが地球史に残る背景を抱え、奇跡とも言えるバランスの中に存在することに驚きを感じ、そのような環境が、この静岡に息づいていることに誇りを感じました。

この奇跡が変わらず次代に引き継がれていくことを願わずにいられません。

今年度最後となる第4号では、ここまでの取組やこれからの取組などについて御紹介していきます。

本会の活動状況

～南アルプス全体構想策定に向けた骨子案の協議開始～

第3号で、全体構想の策定に向けた動きとしてお伝えをさせていただきました。

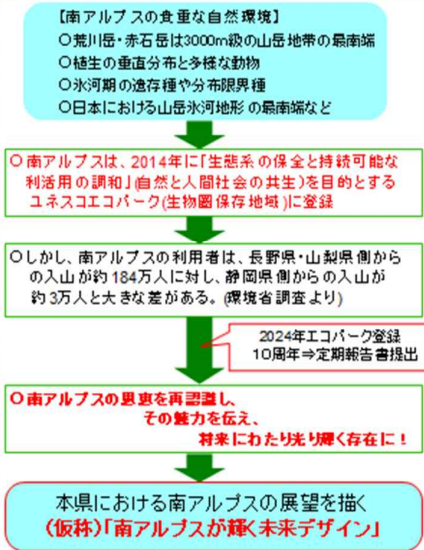
本会では、南アルプスをより良い形で次代に引き継いでいくため、その指針となる理念的な位置づけとして全体構想の策定に取り組んでいます。

去る3月17日（金）に運営会議を開催し事務局から骨子案をお示しし、臨席WEB合わせて13名の理事の皆様で議論をいただきました。

事務局では、今回の議論を踏まえ、概ね夏頃の策定を目途に協議を進めていきます。



南アルプスは「世界の宝」、将来にわたり光り輝く存在に



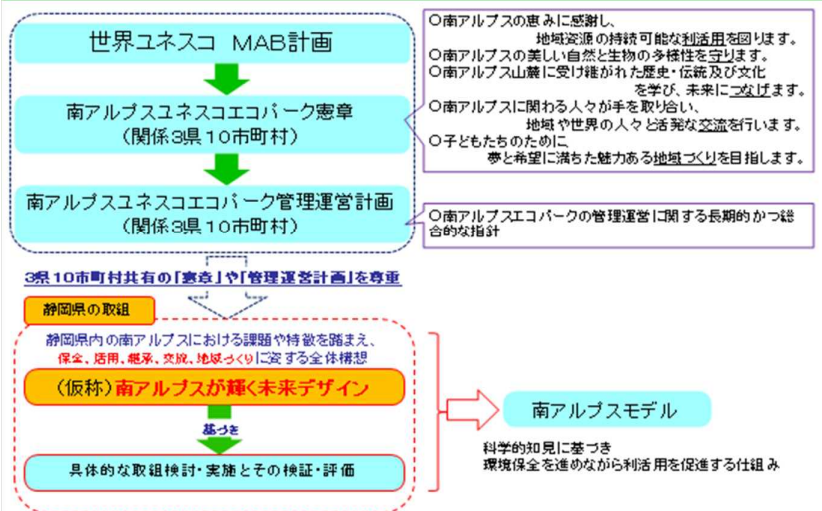
南アルプスの持つ希少かつ貴重な自然環境は、まさに世界共有の財産であり、世界の宝です。

また、その自然環境は、そこに息づく動植物をはじめ、私たちの生活や文化など、様々なものに恩恵を与えてきました。

私たちはその恩恵を再認識し、またその素晴らしさを伝え将来にわたり南アルプスが光り輝くもので在り続けられるよう、令和6年度(2024)に世界ユネスコエコパーク登録10周年を望むこの機会を契機に、本県の南アルプスの展望を描こうと考えました。

「南アルプスが輝く未来デザイン」は、南アルプス関係県、市町村が一体となって策定した「南アルプスユネスコエコパーク憲章」に定められた理念や総合的な指針となる「南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画」を遵守し、静岡県における南アルプスの保全や活用、交流や継承、地域づくりに資する理念や基本的な取組の方向性を定めるものとして位置づけたいと考えています。

「南アルプスが輝く未来デザイン」の位置づけ



本会の活動状況

全体構想のキーワードは、「恩恵」、「海と山の繋がり」、「次代に引き継ぐ」そして「参画」です。

章立ては、歴史的・事実背景の観点から、南アルプスがもたらしてきた恩恵にはじまり、本県に位置する南アルプスだけが持つ唯一無二の価値・魅力といえる海との繋がりなどを踏まえ、南アルプスを次代につなぐ必要性と、どのように引き継いでいくのかということ、そして、これに対する現状や直面している課題を整理し、最終章において、未来像としての輝く南アルプスの実現に向けた道筋を描こうと考えています。

なお、全体構想策定後は、これが具体的な取組に繋げるための検討、協議を本会で行い、県に施策として事業化・予算化を図るよう提案してまいります。

〈全体構想の概要〉

項目	内容
名称	(仮称) 南アルプスが輝く未来デザイン
趣旨	ユネスコエコパークに登録され、貴重な自然環境を有する「世界共有の財産」である南アルプスが、これまでもたらしてきた数多くの恩恵を再認識し、ここから生まれ出る魅力を通じ、南アルプスがより良い形で次代に引き継がれていくことを指向する展望を描く。
概要	<p>〈第1章(案)：南アルプスから享受してきた恩恵〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南アルプスが有する地球規模に顕著で普遍的な価値 ・南アルプスが育み命を繋ぐ比類のない希少な動植物 ・南アルプスからの恵みに感謝し、活かし、守り伝える人々の文化 <p>〈第2章(案)：海と山の繋がりが生む本県独特の南アルプスの魅力〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手つかずの自然が残る希少性の高い環境 ・地球のダイナミズムを間近に見ることができる景観 ・人々の営みに与えてきた恵み <p>〈第3章(案)：南アルプスを次代につなぐということ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ南アルプスをより良い形で次代に引き継ぐ必要があるのか ・何をどのように引き継いでいくのか <p>〈第4章(案)：南アルプスの現状や課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南アルプスの希少かつ貴重な自然環境の保全が直面している危機 ・本県に位置する南アルプスに対する認知度の低さ ・南アルプスの魅力の裾野を広げる取組の必要性 ・本県の南アルプスに対する関わり方 <p>〈第5章(案)：輝く南アルプスの実現に向けた道筋を描く〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行動の輪が創り出す輝く南アルプスの未来 ・南アルプスの輝く未来像の実現のために今からできること

南アルプスを次代につなぐ取組①

《『南アルプス魅力発信ツール（WEBアプリ）』完成！！》

第3号でお知らせをさせていただいたWEBアプリですが、ようやく完成し、この3月に公開をしました。

正式な名称は、

南アルプス魅力発信・環境学習サイト『南アルプスの宝箱』



と言います。

長いので、「南アルプスの宝箱」と覚えてください。

「このサイトを使えば、南アルプスには数多くの魅力が詰まっていることが分かるよ」という想いを込め、開発に当たり全面的な協力をしてくれた、地元井川中学校、本川根中学校の生徒、先生方に名付けていただきました。

本サイトでは、南アルプスの美しい景観を撮影した画像の投稿・閲覧や、南アルプスの魅力や学術的な解説を行っている動画の無料視聴のほか、子ども達が教室で、現地で座学や体験を通して南アルプスを知ることができるコンテンツで構成されています。

とりわけ、環境教育の観点での活用に期待をしており、学校等の授業の場において使うことができるよう、体験学習プログラムには進め方やねらいなど、ティーチャーズガイドも掲載しています。授業での活用においては、県もサポートをする予定です。

ぜひ一度、御覧ください。

また、教育関係にお勤めの方で、関心がある方は、下記まで御一報ください。

〈静岡県自然保護課 TEL：054-221-2963 Mail：shizenhogo.shizuoka.lg.jp〉



「南アルプスの宝箱」QRコード



南アルプスを次代につなぐ取組②

《南アルプス研究費助成制度の運用開始！！》

南アルプスは、その急峻さや奥深さから生態系や環境の変化を追跡し、記録することがかねてより困難な地域であり、研究者の高齢化や研究費助成制度の変遷などにより、息の長い学術研究の遂行が年々困難になってきている深刻な状況におかれています。

この状況を克服するため、以前御紹介した「南アルプスモデル」における知の集積機関であり、南アルプス地域における自然、文化、民俗、歴史、社会、産業などの多様な領域を横断的に研究し、独自の地域学である「南アルプス学」の構築を目指す「南アルプス学会」では、その研究費を助成する制度を創設し、令和5年度からの研究の募集を開始しました。

新規募集

南アルプス学会研究助成

【令和5年度】

南アルプス（静岡県内）を主な対象とする多様な研究活動を支援します。

静岡県では「南アルプス学」の構築に取り組んでいます

「南アルプス学」とは、南アルプス地域の自然、文化、民俗、歴史、社会、産業などの多様な領域を横断する研究であり、南アルプス地域の風土を再発見するための学問です。あなたも「南アルプス学」の研究に加わりませんか？

対象となる研究

主として静岡県内の南アルプス地域において実施する研究で、自然科学、人文・社会科学等の分野を問わず、南アルプス学の構築に寄与する研究。

応募資格・助成内容

【応募資格】

- ① 教育機関・研究機関等に所属する教員又は研究員
- ② 大学・大学院生
- ③ その他「南アルプス学」の探求に意欲・関心のある方

【助成内容】

- 1件あたり50万円以内
- 助成対象経費を全額助成

【募集締切】

令和5年5月8日（月）
（当日消印有効）

研究期間

- 原則1年以内（令和6年2月末まで）
- 最大3年まで可能（ただし1年ごとに審査を要します）

お申し込み・お問い合わせ

南アルプス学会事務局
静岡県自然保護課 富士山・南アルプス保全班
TEL：054-221-2963
FAX：054-221-3278
MAIL: shizonhogo@prof.shizuoka.jp




(1件あたり)

50

万円

助成対象経費を全額助成

〈助成制度の概要〉

項目	内容
対象研究	主として、静岡県内の南アルプス地域において実施する研究で、自然科学、人文・社会科学等の分野を問わず、「南アルプス学」の構築に寄与する研究。
応募資格	①教育機関・研究機関等に属する教員又は研究員 ②大学・大学院生 ③その他「南アルプス学」の探求に意欲、関心のある方
助成内容	1件あたり50万円を上限に助成対象経費の全額を補助
研究期間	原則1年以内（令和6年2月末まで） 最大3年間（ただし、1年ごとに審査を要する）

開かれた南アルプスを目指して

《本県における南アルプス交通アクセス改善検討会議の設置》

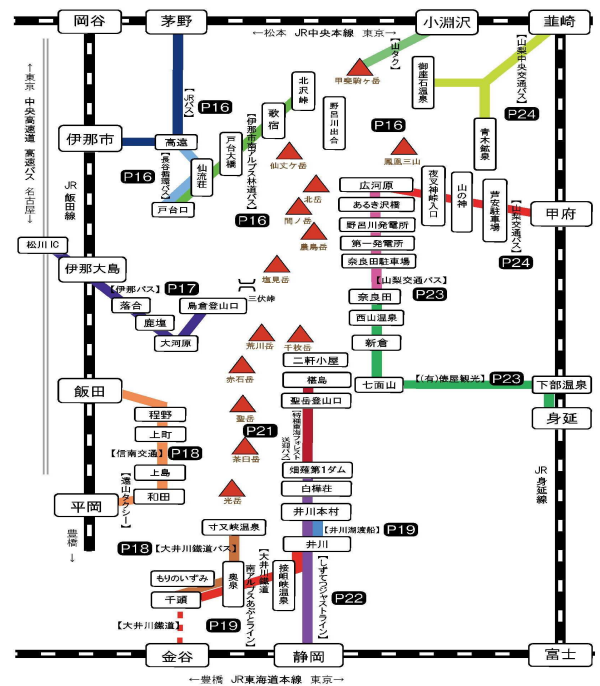
南アルプスは、その急峻さや奥深い地理的要因から、百名山制覇を目指す登山者ですら後回しにするほど難易度が高い山岳地域です。また、この難易度には、現地までのアクセス環境も含まれています。

登山者でない一般の方々にとっては言うまでもありません。

そこで、誰もが気軽に南アルプスエリアを訪れることができるよう、国、県、関係市町、関係民間事業者等からなる『南アルプス交通アクセス改善検討会議』を立ち上げました。

今後、令和8年度を目途に、現地へのアクセスに関する新たな交通体系の構築を目指します。

南アルプス周辺公共交通機関概念図



《検討会議の概要》



項目	内容
目的	市街地からの距離や、林道の通行許可等、様々な課題が存在する南アルプスエリア奥地までのアクセス環境について、行政関係者、交通及び地域事業者等からなる関係者が連携し、協働し、登山者だけでなく、一般来訪者など、誰もが気軽に訪れ、その魅力に触れることができる交通アクセス環境について検討を行う。
検討項目	<ul style="list-style-type: none"> ・道路運送法等、関係法令に関する基本的認識 ・公共交通によるアクセス環境の現状確認及び課題整理 ・実現可能で持続可能性の高い運行体制・手法・サービス水準 ・実証試験運行の内容及びその実施 ・マーケティング、需要喚起等の手法 ・これらを踏まえた運行形態、体制案
構成 (今後増員 予定)	国：国土交通省中部運輸局静岡運輸支局 県：自然保護課、地域交通課 市町：静岡市（環境創造課、中山間地振興課、治山林道課、交通政策課、井川支所） 川根本町（観光商工課、くらし環境課） 事業者：(株)特種東海フォレスト、十山(株)、大井川鐵道(株)、しずてつジャストライン(株)、千代田タクシー(株)、川根本町森林レクリエーション推進協議会、井川山岳会 その他：(一財)南アルプスみらい財団

令和5年度の静岡県の取組紹介



《令和5年度も継続した取組を実施》

今年度の取組を継続しつつ、目的や成果を一層明確化した取組を展開します。

〈生態系保全事業の概要〉

項目	内容	
生物多様性の確保	<ul style="list-style-type: none"> ○高山植物保全のための防鹿柵の設置と維持管理 ○食害地でのニホンジカの試験捕獲と調査 	
絶滅危惧種の保護	<ul style="list-style-type: none"> ○高校生による高山植物種子保存プロジェクト ○南アルプスにおける動植物調査 ○ドローンを活用した希少種やニホンジカの食害状況調査 	
研究の推進	○南アルプスの学術的体系化に資する研究に対する助成	

〈魅力発信事業の概要〉

項目	内容	
次代を担う子ども達への取組	○南アルプス魅力発信・環境学習サイト「南アルプスの宝箱」を活かした環境学習の推進及びプログラムの開発	
環境学習の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○インタープリターの養成 ○SNSを活用した情報発信やメディア体験ツアー等の実施 	
アクセス環境の整備	○多くの人に開かれた利便性が高く持続可能性のある交通体系と、これによる地域の潤いを引き上げるための仕組みの構築	

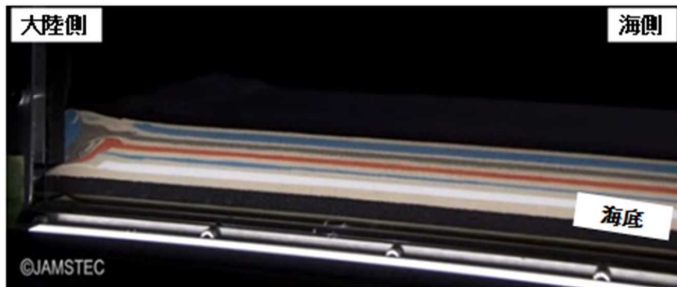
シリーズ企画：南アルプス探訪

第2号から始まりましたシリーズ『南アルプス探訪』。今回は南アルプスの基盤地質について御紹介しました。

第3回目となる今回は『付加体の形成過程』についてです。

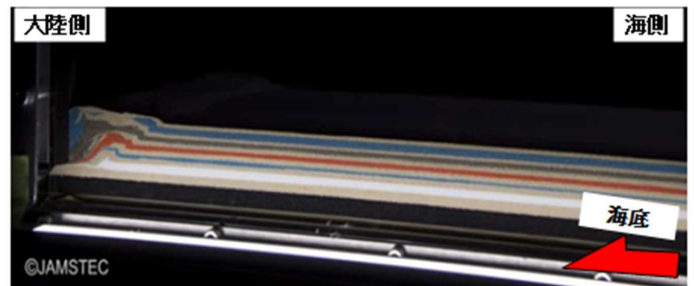
テーマ：南アルプスの地質と地形の成り立ち (第3回：南アルプスを生んだ付加体の形成過程)

付加体の形成過程を再現した実験 【1/11】



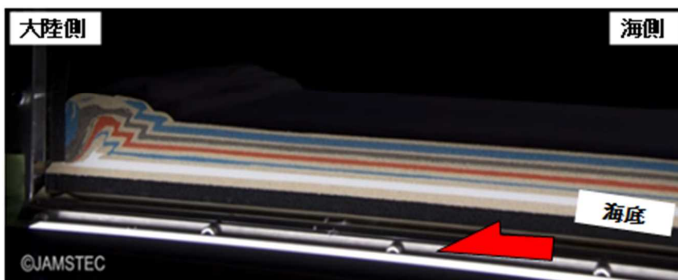
付加体の形成過程を砂を使用して再現した実験を紹介します。
透明ケースの中の青色や赤色の地層は、海洋プレート上の堆積物を表します。

付加体の形成過程を再現した実験 【2/11】



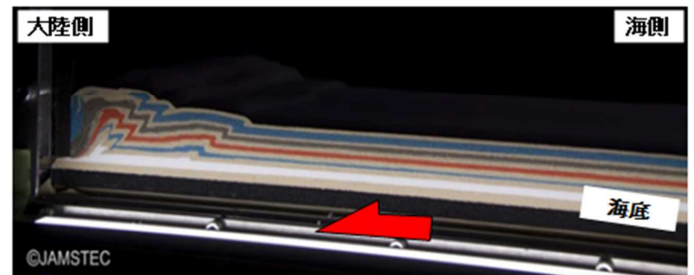
透明ケースの底が海洋プレートで、壁が大陸プレートを表します。
赤い矢印が海洋プレートの移動方向です。

付加体の形成過程を再現した実験 【3/11】



実験では、透明ケースの底が移動し、地層が壁に押し付けられていきます。

付加体的形成過程を再現した実験 【4/11】



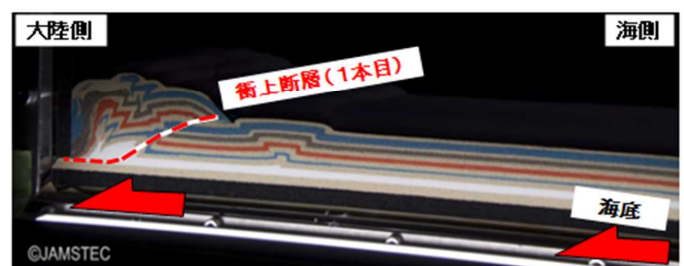
この過程が、海溝で海洋プレートの沈み込みに伴い、海洋プレート上の堆積物が、陸側のプレートに押し付けられて、付加体が形成されていくイメージです。

付加体の形成過程を再現した実験 【5/11】



先に海底でできた古い地層の下に、新しい地層がもぐり込み、付加された地層が波打つように激しく変形していきます。

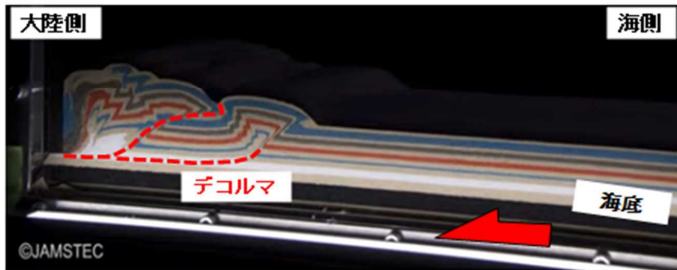
付加体の形成過程を再現した実験 【6/11】



さらに古い地層が新しい地層の上のし上がるにより、低角な断層が形成されます。
このような45度以下の低角な断層を衝上断層と呼びます。

シリーズ企画：南アルプス探訪

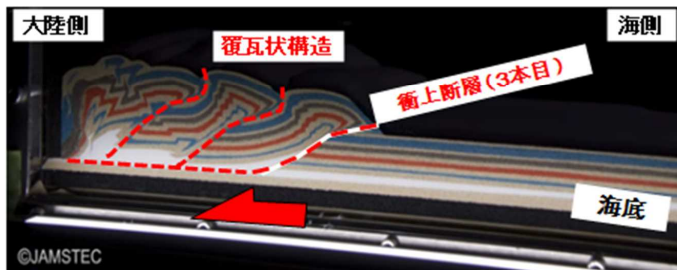
付加体の形成過程を再現した実験 【7/11】



海洋プレートの移動に伴い、地層と平行方向に圧縮され、一部に水平な地層が突出したような構造が観察されます。

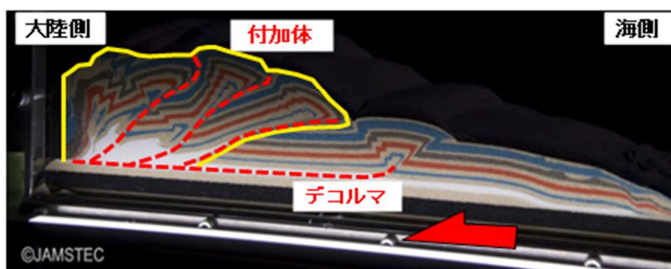
このような地層に平行な大規模すべり帯をデコルマと呼びます。

付加体の形成過程を再現した実験 【9/11】



3本目の衝上断層が形成され、同じ方向に傾斜する衝上断層帯が発達し、地層が瓦を斜めに積み重ねたような構造ができます。このような構造を覆瓦状構造と呼びます。

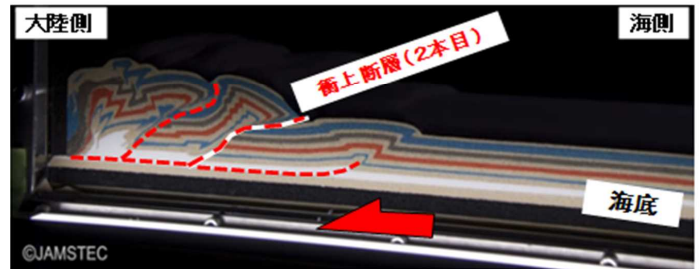
付加体の形成過程を再現した実験 【11/11】



形成された付加体の手前では、新しいデコルマができ始めています。

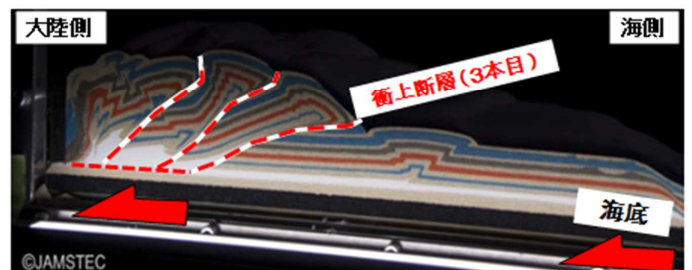
次回は『日本列島と南アルプスの形成』についてお話しします。

付加体の形成過程を再現した実験 【8/11】



水平圧縮が進行し、古い地層が新しい地層の上ののし上がり、2本目の衝上断層が形成されます。

付加体の形成過程を再現した実験 【10/11】

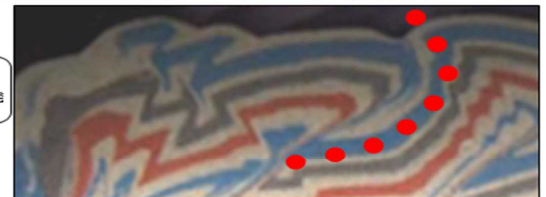


付加体内部の地層は波打ち引き伸ばされ複雑な構造をしています。

地層の屈曲・めくり上がり構造

再現実験

国立研究開発法
海洋研究開発機構
2018. 2. 14 報道発表
表(一部加筆)



赤石山地の大井川でみられる 地質構造のスケッチ例

狩野・村松・奥田(1986)



付加体の再現実験では、点線のように地層が反り返り、めくり上がるように変形している構造がみられます。また、激しく折れ曲がり屈曲しているような地層もみられます。

このような地質構造は、赤石山地の南アルプスでも実際に観察されています。

編集後記

～懸命になるということ～

静岡県くらし・環境部自然保護課 小林直人

『懸命に走る』という行為が、これほどまでに感動的だなんて。僕は目頭が熱くなるのを感じながら、子どものころのことを思い出していた。子どものころの僕は、公園や校庭で、遊具に向かってまっしぐらに走っていた。

でも、いつからか、何かを求めて走ることをしなくなってしまった。

どうしてだろう。必死な姿を見られるのが恥ずかしいと感じるようになってしまったからだろうか。この世の中には、走って求めるようなものなんてないと思うようになってしまったからなのだろうか。

理由はいくつもあるように思えたけれど、このとき僕はあることを確信した。何か求めることを止めたとき、世界は、色あせるんだ。

私の好きな本の、とある段落です。

『堂々と理想を語り実現にむけて全力を尽くす』という私の仕事に対する信念を支えてくれている、私にとってとても大切な言葉です。

先般のWBCをはじめ、今でこそがんばることを賞賛できる世の中になっていますが、ロスジェネレーション世代である私の若い頃は、何かかんばることが恥ずかしい。場合によっては、無駄だ。という、ある種、閉塞感のような空気が漂っていたような気がします。当然、私もそのような空気の一部でした。

ただ、この職業に就き、がんばるものの価値を再認識し、現在の信念に至ります。

その中でも、南アルプスは、堂々と理想を語り懸命になり、それを憚らず実現に向けてがんばる価値のある、最もやりがいのある職務のひとつであると私は思います。

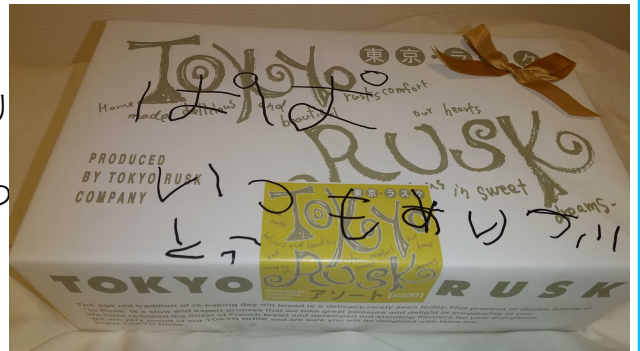
私事になりますが、このたびこの職を離れることになりました。

創刊号から担当させていただきましたが、まだまだ皆さんにはお伝えしたいことがたくさんあり

ました。稚拙な内容で、皆さんに上手く伝わったかどうか不安ではありますが、ここまで2年間、懸命になって南アルプスに関わることができたことを誇りに思います。

皆さんには、ぜひこれからも輝く南アルプスの実現のために、変わらぬ御支援をいただきますようお願いをさせていただきます、お別れの挨拶とさせていただきます。

これまで、本当にありがとうございました。とても楽しかったです！



《私の信念を支えるもうひとつのたからもの》

YouTubeやSNSで南アルプスの魅力を発信中！

○YouTubeチャンネル「みんなの南アルプス」



○県職員が撮影・編集「南アルプスを守るお話」(YouTube)



○南アルプスを未来につなぐ会 各種SNS

Instagram

Twitter

Facebook



南アルプス環境保全基金

美しい南アルプスを未来につないでいくため、
みなさまのご支援・ご協力をお願いします！

県外企業様はこちら 【企業向けふるさと納税】

- ①静岡県公式ホームページの
サイト内検索で、
「地方創生応援税制」と検索
- ②サイト内の寄附申出書を
所定の提出先へ提出

こちらから
簡単手続き！



県内企業様はこちら 【一般寄附】

自然保護課まで
お問い合わせください。

個人の方はこちら 【ふるさと納税】

- ①インターネットサイト「ふるさとチョイス」の
「自治体を探す」で静岡県を選択
- ②自治体一覧から静岡県庁ページを選択
- ③寄附金の使い道で「南アルプスユネスコ
エコパークの保全管理と魅力発信等」を選択

こちらから
簡単手続き！



方法は
3つ！

